

令和4年度 学校評価（年度末）調査結果

今富小学校

<児童>

A:できる B:どちらかというところ C:どちらかというところできなかった D:できなかった (%)

評価項目	低学年				中学年				高学年				スクールプラン										
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	目標値(A+B)										
心 思いやりの ある子	私は、登下校時にも自分から進んであいさつが、										61%	27%	8%	4%	44%	41%	13%	2%	56%	35%	8%	1%	80%
	私は、自分の学級がいごちのよい学級だと、										71%	22%	6%	1%	74%	20%	5%	1%	57%	41%	2%	0%	80%
	私は、ふるさと小浜(今富)の良さが、										74%	20%	5%	1%	63%	28%	5%	4%	63%	35%	2%	0%	90%
頭 思いや考え を伝えられ る子	私は、自分の考えを友達と伝え合うことで、学習内										61%	32%	6%	1%	70%	26%	3%	1%	65%	30%	5%	0%	90%
	私は、自分の学習のめあてを守って、										65%	28%	7%	0%	40%	45%	14%	1%	40%	49%	7%	4%	80%
体 健康でたく ましい子	私は、ノーメディアウィークの取組を通して、早寝・早起き・朝ごはん・メディアコントロールが、										56%	29%	12%	3%	49%	42%	8%	1%	32%	58%	10%	0%	80%
	私は、業間マラソンの取組で、学年目標(個人目標)に向けてあきらめず一生懸命に、										77%	20%	2%	1%	72%	24%	3%	1%	63%	31%	5%	1%	80%
	私は、情報機器使用のルールを守って生活することが、										65%	25%	8%	2%	55%	36%	6%	3%	53%	36%	9%	2%	70%

<保護者>

A:できる B:どちらかというところ C:どちらかというところできなかった D:できなかった (%)

評価項目	保護者							
	A	B	C	D				
心 思いやりの ある子	今富小学校の児童は、登下校時、気持ちのよいあいさつが				21%	59%	18%	2%
	1,2年:お子さんはふるさと(今富)の良さを感じる活動に、				52%	43%	4%	1%
	3~6年:お子さんは、ふるさと小浜(今富)の良さが、				48%	48%	2%	2%
頭 思いや考えを 伝えられる 子	お子さんは、思いや考えを表現することが、				35%	61%	4%	0%
	お子さんは、自分の学習のめあてに合わせて毎日家庭学習に、				29%	51%	18%	2%
体 健康でたく ましい子	お子さんは、ノーメディアウィークの取組を通して、基本的な生活習慣(早寝、早起き、朝ごはん、ノーメディア、歯磨き)を意識した生活が、				29%	58%	11%	2%
	お子さんは、体力の向上に向けた取組(業間マラソン、一輪車、業間なわとび等)を通して、ねばり強さが				43%	48%	7%	2%
	お子さんは、ノーメディアウィーク等の取組を通して、家庭で決めた情報機器使用のルールを守って生活することが、				28%	52%	15%	5%

<教職員>

A:できる B:どちらかというところ C:どちらかというところできなかった D:できなかった (%)

評価項目	教職員							
	A	B	C	D				
心 思いやりの ある子	登下校時、児童が自ら進んで挨拶ができるような指導に、(全職員)				38%	62%	0%	0%
	すべての子にとっていごちのよい学級づくりに、(担任)				62%	38%	0%	0%
	ふるさと小浜(今富)の良さがわかる児童の育成に、(担任)				46%	54%	0%	0%
頭 思いや考えを 伝えられる 子	自分の思いや考えを表現し、お互いの考えを深め合える授業を行うことが、(授業者)				14%	73%	13%	0%
	家庭学習の手引を活用して指導を行うことが、(担任)				31%	46%	23%	0%
体 健康でたく ましい子	基本的な生活習慣に関する指導では、計画的かつ日常的に機会を捉えて、(全職員)				63%	31%	6%	0%
	気力・体力づくりのために授業や体育的行事、業間体育において、児童が目標を達成できるように工夫して、(全職員)				44%	50%	6%	0%
	情報機器使用のルール(モラル・時間等)に取り組むことが取り組むことが、(担任)				29%	50%	21%	0%

学校評価(年度末)のアンケート結果についての考察と今後の対応

(学校教育目標) すすんでかかわり 生き生きとりくむ今富っ子			
	心(思いやりのある子)	頭(思いや考えを伝えられる子)	体(健康でたくましい子)
成果と課題	<p>○あいさつに関して、中学年での評価がやや低いものの、全体的には85%をこえており、満足のいく結果となった。委員会やプロジェクト活動に主体的に取り組み、あいさつをよりよくしていこうとしたことのあらわれだと思われる。</p> <p>○居心地のよい学級に関しては、児童のAB評価が90%をこえており、十分満足できる結果である。普段の学級作りだけでなく、人権週間の取り組み等により、自他を認めたり、褒めたりする活動ができ、居心地のよい学級作りに役だった。</p> <p>○ふるさと学習に関しては、児童・保護者・教員とも十分満足のできる結果となっている。</p> <p>△あいさつに関して、保護者のAB評価が80%と、児童と比べると低くなっている。</p> <p>△居心地のよい学級に関して、全体的な結果はよいものの、CD評価の児童が2%~7%おり、少しでも減らしていくように努めていく。</p>	<p>○ペアやグループでの学習を積極的に取り入れ対話の機会を増やしたことで、多くの児童が自分の思いや考えを伝えることができた。児童・保護者ともに AB 評価が95%前後であった。</p> <p>○家庭学習の手引きを活用して、自分に必要なめあてを設定し可視化したり、長期休業前に再度見直したりしたことで、めあてをもって学習に取り組む児童が出てきた。</p> <p>△児童自身が設定しためあてについての家庭へのお知らせが不十分であった。</p>	<p>○アウトメディアを通して、自分の生活に合ったメディアコントロールの方法を見つけて取り組もうとする児童が出てきた。</p> <p>○運動習慣の定着については、児童・保護者・教職員の全てにおいてAB評価が90%をこえた。業間体育に粘り強く取り組み、一輪車・マラソン・なわとびで運動能力の向上を実感できる児童が多かった。</p> <p>△タブレットを持ち帰った際のマナーやルールについて、学校と家庭の共通理解が不十分だった。</p>
改善策・対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動やプロジェクト活動を計画的に持ったり、あいさつの具体的な姿を子ども達に考えさせたりしていくことで、あいさつの意識を向上させる。 ・「居心地」がよくないと感じている児童の把握と、教育相談等を通じてしっかりと話を聞く時間を持つ。 ・児童同士、関わり合いを持つ活動は今後も継続して行っていく。 ・ふるさと学習は、どの学年も継続的に取り組みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度の初めから家庭学習のめあてを作成し、定期的な振り返りやめあての再設定を行うことで、家庭学習の質をあげる。家庭と連携していけるよう、発信していく。 ・タブレットを用いた家庭学習の増加が見込まれるため、活用場面や方法について、家庭と学校が共通理解していく。 ・学習の振り返りをする時間を設け、自分の学びの深まりを自覚できる機会をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル指導カリキュラム表の作成や、タブレット使用時のルール作り、教育講演会等での啓発を通し、情報機器使用時のマナーやルールについて、家庭と学校が連携して理解を深める。

